狩野川・黄瀬川洪水ハザードマップ
―想定最大規模レベル２―

この地図は、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水（レベル２）により
狩野川が氾濫した場合の浸水予測に基づいて、浸水範囲と
その程度ならびに避難場所を示しています。
いざという時のために、日ごろからご家族はもちろん、ご近所や
自主防災組織の方々と避難場所、避難経路などについて話し合っておきましょう。

過去の水害情報　―狩野川台風―

狩野川台風と呼ばれている昭和 33 年の台風 22 号は、9 月 26 日 22 時頃に伊豆半島東岸をかすめて通過し、狩野川上流部の湯ヶ島では、 19 時～ 22 時に時間雨量が 80 ～ 120 ミリという豪雨に見舞われました（48 時間総雨量は 748.6 ミリ）。 狩野川の水位は、 26 日 14 時に旧大仁町の量水標で警戒水位を突破し、 さらに 20 時より急激に上昇し、 各水位観測所とも既往最大値を記録しました。 上流山地では多数の土砂災害が発生し多大な被害を与え、中流域では堤防が決壊、氾濫し、田方平野は泥海と化し、一夜にして死者行方不明者 853 名（狩野川流域）という未曾有の災害となりました。

沼津市内では人的被害こそ無かったものの家屋被害は 1,089 戸にも達し、 さらに木造であった黒瀬橋をはじめ三園橋上流の橋は全て流失しました。
また、 これを機に、 既に始まっていた狩野川放水路の建設に拍車がかかり、 当初計画 2 本であったトンネルが 3 本に増やされ、 昭和 40 年 7 月に全延長 2980m の放水路は完成しました。

（写真）国土交通省沼津河川国道事務所　提供　　流出した黒瀬橋

雨の強さと降り方

1時間雨量（mm）	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる

大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、 重大な災害が起こるおそれのある時は大雨警報や洪水警報を、 さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して注意を呼びかけます。

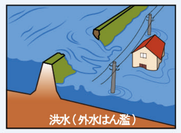
数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。 この情報が発表されたときは、お住まいの地域で土砂災害や浸水害、 中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。

出展：気象庁、 雨の強さと降り方

洪水発生のメカニズム

洪水（外水はん濫）とは、 豪雨によって河川の水量が急激に増加することで、 水が堤防を越えたり、 堤防が崩れて住宅地や農地などに水が流れ出ることです。 この時、 流れ出た水により家や車が押し流されるなど、浸水被害が発生します。

なお、 堤防が崩れる原因として主に、 越水、 洗掘、 浸透の 3 つが挙げられます。



越水（えっすい）

河川の水位が上昇し堤防からあふれ出ることを「越水」と言い、 その水の流れにより堤防の裏面が削られます。 削られたところにさらに水が流れ込むことで次第に堤防全体が弱くなり、 崩れてしまいます。

洗掘（せんくつ）

河川の水の流れや勢いなどによって、 堤防の側面や堤防近くの川床が部分的に削り取られることを「洗掘」と言います。 削られたところに水が流れ込むことで次第に堤防全体が弱くなり、 崩れてしまいます。

浸透（しんとう）

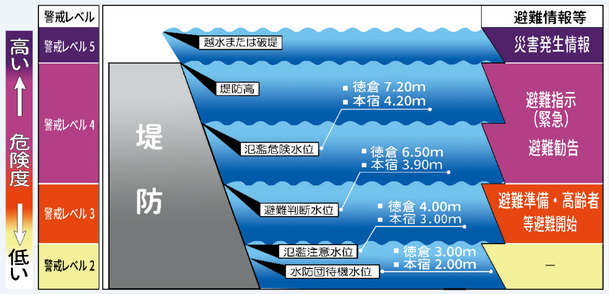
降雨により堤防内部の水分量が増加したところに、 さらに河川の水位が上昇し河川水が浸透し堤防の裏の斜面から崩壊が始まることを「浸透」と言います。 崩れだした箇所にさらに水が流れ込むことによって拡大し、 崩れてしまいます。

大雨時に発表される情報について

警戒レベルと避難行動について

	警戒レベル	住民の皆さんがとるべき行動	気象警報等	避難情報等	川の情報	判断基準
高い↑危険度	警戒レベル５	既に災害が発生しているため命を守る最善の行動	大雨特別警報	災害発生情報（でるかもしれない）	氾濫発生情報	堤防からの越水、または破堤がおこり、河川水による洪水が確認されたとき
	警戒レベル４	**避　難** ・速やかに避難場所へ避難をしましょう。 ・避難場所への移動が危険と思われる場合は、近くのより安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。	土砂災害警戒警報	避難指示（緊急） 避難勧告	氾濫危険情報	基準地点の水位が一定時間後に氾濫危険水位に到達することが見込まれるとき
	警戒レベル３	**高齢者等は避難** ・ご高齢の方や障害をお持ちの方、乳幼児をお連れの方など避難に時間のかかる人は避難しましょう。 ・その他の方は、避難の準備をしましょう。	大雨警報 洪水警報	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報	基準地点の水位が一定時間後に氾濫危険水位に到達することが見込まれるとき、または、避難判断水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき
	警戒レベル２	避難行動の確認をしましょう。	大雨注意報	—	氾濫注意情報	基準地点の水位が氾濫注意水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき
低い	警戒レベル１	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（警報級の可能性）	—	—	—

避難情報発表のおおよその目安



避難時の心得

いざという時、 あわてず、 冷静に。
日頃から避難に必要なものを整理しておくとともに、 避難の手順について家庭で打合せしておくと、 いざという時あわてずに避難ができます。 また、 その時はラジオや広報車などからの情報を確認し、 1人で行動せず、 必ずグループで行動するようにしましょう。

安全な避難路の事前確認を

非常持ち出し品の事前準備を

正確な情報収集と自主的避難を

避難の呼びかけに注意を

お年寄りなどの避難に協力を

動きやすい服装、 2人以上での避難

河川や水路に近づかない

道路や堤防に車を放置しない

非常持ち出し品のチェック

お近くの雨水ますや側溝の点検・清掃を

雨水ますや側溝に落ち葉、 ゴミが詰まると、 浸水の原因になります。
家の近くの雨水ますや側溝の点検・清掃にご協力お願いします。

情報伝達経路

気象情報（注意報・警報）・洪水予報と避難情報は、下記の図のような経路で市民の皆さんに伝達されます。

水害時に得られる情報

同報無線は雨・風が強いと聞こえづらい場合があります。沼津市危機管理情報メールへの登録等、さまざまな手段を用いて気象情報や避難情報を積極的に入手しましょう。

沼津市危機管理情報メール

事前に登録していただいたメールアドレスに、警報・注意報や避難勧告・避難指示、その他災害時に役立つ情報等を沼津市からお知らせするメール配信サービスです。

https://service.sugumail.com/numazu/member/

【沼津市危機管理情報メールへの登録方法】

←QRコードを読み取って空メールを送ってください。
※QRコードを使用せずにメールを直接送る場合はこちらに送信してください。
➡ t-numazu@sg-m.jp
本登録メールが届きますので、順序に従って登録してください。
※メールが届かない方は、ドメイン指定受信可の設定の変更をお願いします。
➡（ドメイン名：sg-m.jp）

国土交通省 沼津河川国道事務所 HP

【川の防災情報】

国土交通省

https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/

気象庁 静岡地方気象台

気象庁 Japan Meteorological Agency

https://www.jma-net.go.jp/shizuoka/

沼津市 危機管理情報HP

https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kikikanri/index.htm

【沼津市防災アプリ】

沼津防災 Google Play又は App Storeから ダウンロードできます。

【自動応答システムダイヤル】
こちらの電話番号で、登録された複数情報の内容が確認できます。
確認できる内容は、48時間以内での情報です。

055-955-5255

静岡県防災アプリ

https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html

静岡県総合防災アプリ

データ放送

テレビのデータ放送では、気象情報や避難場所の開設情報などが確認できます。

静岡県サイポス

川や気象 防災情報なら ここ!! リバーカメラ

http://sipos.pref.shizuoka.jp/

ラジオ

FM ぬまづ（76.7MHz）　NHK-FM（88.8MHz）
K-MIX（79.2MHz）　SBS ラジオ（1404kHz）
NHK 第一（882kHz）

土砂災害や津波ハザードマップの入手先

洪水ハザードマップ
沼津市役所河川課（本庁 6 階）または沼津市ホームページ
（http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kikikanri/index.htm⇒「風水害・土砂災害への備えと対応」）

土砂災害ハザードマップ
沼津市役所河川課（本庁 6 階）または沼津市ホームページ
（http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kikikanri/index.htm⇒「風水害・土砂災害への備えと対応」）

津波ハザードマップ
沼津市役所危機管理課（本庁 5 階）または沼津市ホームページ
（http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kikikanri/index.htm⇒「地震・津波への備えと対策」）

土砂災害とは

	警戒レベル相当［県 GIS］		
	警戒レベル	メッシュの色	状　態
高い↑危険度↓低い	警戒レベル５	—	—
	警戒レベル４	紫色	現在、土砂災害の危険な状況である。
		赤色	１時間後に、土砂災害の危険になるおそれがある。
		橙色	２時間後に、土砂災害の危険になるおそれがある。
	警戒レベル３	黄色	３時間後に、土砂災害の危険になるおそれがある。
	警戒レベル２	—	—
	警戒レベル１	—	—

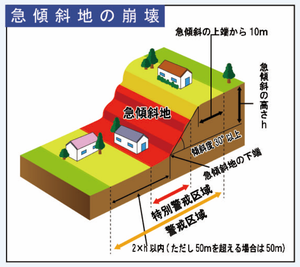
大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、 水と混じり合った土や石が川から流れ出たりすることにより、私たちの命や財産が脅かされる自然災害です。

土砂災害の種類と土砂災害（特別）警戒区域の指定について
土砂災害の主な種類として、「急傾斜地の崩壊」（がけ崩れ）「土石流」「地すべり」があります。
沼津市内では「**急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）**」「**土石流**」の発生する恐れのある箇所について、土砂災害の危険から住民の生命または身体を守るため、土砂災害防止法に基づき土砂災害（特別）警戒区域が静岡県によって指定されています。地図面（おもて面）に土砂災害（特別）警戒区域を表示していますので、大雨や地震の際には区域から避難し、また避難行動時にはなるべく区域を避けるようにしましょう。

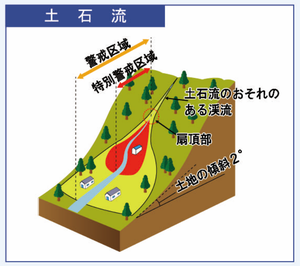
土砂災害警戒区域（地図面［おもて面］では黄色）
崩壊した土石等によって、被害を受けるおそれのある区域です。

土砂災害特別警戒区域（地図面［おもて面］では赤色）
崩壊した土石等によって、住宅等の建築物が倒壊し、住んでいる人の生命や身体に大きな危害が生ずるおそれがある区域です。

急傾斜地の崩壊

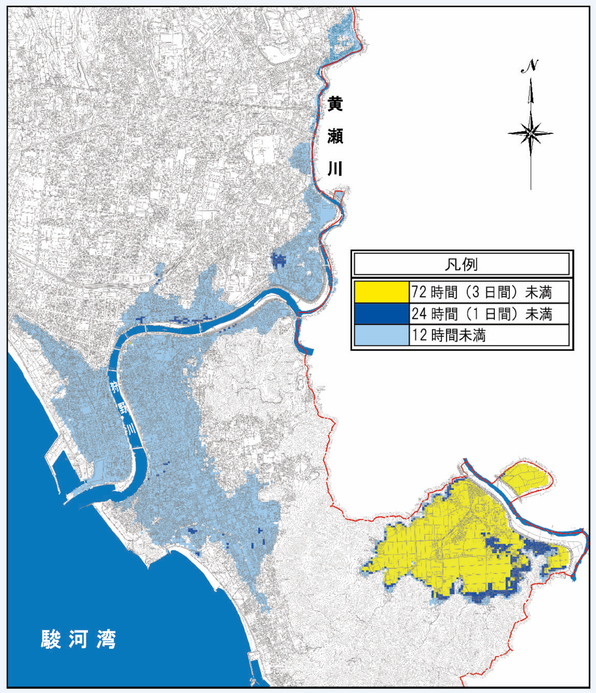


土石流



浸水継続時間（想定最大規模）

浸水深が 50cm になってから 50cm を下回るまでの時間のことを浸水想定時間といいます。
表面の浸水想定区域における浸水継続時間を下の地図に示しています。



浸水時には電気や上下水道等の機能停止が生じるため、浸水継続時間が長時間にわたる場所において自宅の２階以上などに避難した際には、生活に困難が生じる可能性があります。
避難行動が遅れた場合、高層階への避難（垂直避難）が助かるための一つの手段となりますが、逃げ遅れてしまう前に避難場所への早めの避難を心がけましょう。

我が家の防災メモ

普段から家族の緊急時連絡先や避難行動について話し合うようにしましょう。

＜我が家の避難場所＞

＜災害時の緊急連絡先＞

	氏　名	電 話 番 号
親戚・知人などで連絡の取りやすい人の氏名・連絡先を記入してください		

＜家族の緊急連絡先＞

名　前	生年月日	連　絡　先	電話番号	血液型

災害時の安否確認方法

・災害用伝言ダイヤル「171」
災害時は電話が集中し、 つながりにくくなります。
そのような時、 被災地内の人とその地域の人々の「声の伝言板」が災害時伝言ダイヤルです。

・携帯電話の災害用伝言板
携帯電話各社が災害発生時に提供するサービスです。
被災地の人が携帯電話の番号をキーにして安否情報を文字で登録、 他社の携帯電話や PC からも確認できます。

※上記は一例です。 携帯電話事業者により画面や操作方法が異なりますので、
詳しくは利用になっている携帯電話事業者の HP 等にてご確認ください。

防災訓練に参加しましょう

避難行動や災害時の初動などを適切に行うには、 日頃の訓練が欠かせません。 地域で開催される防災訓練や防災講習に家族全員で参加しましょう。

自主避難

ご自身が危険と判断した時には、 自主的に避難しましょう。
場所によっては、 指示を待つのではなく、 自主的に避難を行うことが必要です。 また、 避難場所ばかりが有効な避難先とは限りません。 災害の状況によって高い建物の上階への移動（垂直避難）や、 その場にとどまる行動が有効な場合もあります。